



なぞって練習 [行書体]

源氏も旅で寝ること
 ははじめてなのだろう
 けれど、
 「では帰りは明日に延
 ばそう」
 こう言っていた。山
 の春の日はことに長く
 てつれづれでもあったか
 ら、夕方になつて、
 この山が淡霞に包まれ
 てしまった時刻に、
 午前にながめた小紫
 垣の所へまで源氏は
 行って見た。

■参考

※淡霞【つすがすみ】

※小柴垣【こしばがき】

(青空文庫のフリガナより)